



STOP! 介護崩壊 介護ウェーブ2009 推進ニュース —介護ウェーブの“Big Wave”をおこそう!—

取り組みを具体化し8月末までに250,000筆の署名を集め介護改善要求を国会に届けよう!

1・7(七夕) 介護ウェーブ学習会を開催し、全事業所から140人が参加!
4月改定で利用者・家族の負担さらにふえる (山梨)



介護保険10年目! その問題点は?

全日本民医連事務局次長 林 泰則氏

林氏は、09年介護報酬改定の問題について「底上げ」ではなく加算「偏重」がもたらす事業所の差別化で、利用者の視点は完全に欠落、従来から指摘してきた問題は放置したままと説明。新介護認定制度の認定調査では、認知症関連の項目が大幅に削減され、調査結果から算出される「基準時間」の短縮化など1次判定で軽度判定を誘導（給付抑制）しているながれを指摘。今後、改めて認定制度に対する総合的な検証を行い、抜本的な改善をはかるのを求めていかなければならぬと強調しました。また、介護保険10年をふりかえり、利用者・家族の深刻な実態を紹介してくれました。林氏は、最後に「労働者と事業者中心の運動から、利用者・家族とともに取り組む運動にしていきましょう」と呼びかけ学習会を終えました。

山梨民医連介護ウェーブ推進本部主催で、7月7日（七夕の日）午後、林 泰則氏（全日本民医連事務局次長）を講師に迎え「介護保険10年目！その問題点は？」をテーマに学習会を行いました。当日は、全事業所から140人が参加し、学習後は、要介護認定結果の報告や介護現場からの報告、今後の介護ウェーブの行動提起を行なうなど介護改善にむけた決起の場になりました。

高木県連副会長あいさつ

「介護保険が導入されてから、制度が変わったびに悪くなってきた。本当に介護を必要とされている人が十分なサービスが受けられない、介護のために一生懸命がんばっている家族を支援する制度になっていない。そして、私たち介護・医療の現場で働くものや介護事業所を苦しめるそういう制度になっている。みんなで一緒に変えていこう！」と介護保険制度改善をすすめていくために呼びかけました。



学習会参加者の感想（感想は64人の方から頂きました）

- ・お金がなければ介護サービスが受けられない、現在の介護保険制度をもう一度見直してほしいです。
- ・政治は誰のものなのか。国民のものははず。思いやり予算を削れば消費税を上げなくとも良いはず。
- ・今日の学習会に参加し大変参考になりました。来春の改正で少しでも現制度の問題点が改正できればと思います。又、介護に関わるものとして大変不安に思います。今後も情報を得、学習していくたいと思います。（山梨民医連 介護ウェーブ2009 NEWS 2009年7月13日 No.1より）

行きつけのラーメン店の店長家族に署名のお願い！ 来店していた他のお客様数名が「私も書く！」と言って署名に協力！（埼玉）

ホームページで見ました署名用紙送ってください。所沢市在住の組合員さん！

「ホームページで介護署名のとりくみを拝見しました。署名用紙を送ってください」こんな電話が所沢市在住の組合員さんから本部広報室にかかってきました。介護ウェーブ事務局が署名用紙をお届けすると、一週間もしないで25筆の署名が寄せられました。『…少しですが署名をお届けします。有効に活用してください。』の一筆箋も同封されていました。私たちを勇気づけるものとなりました。こうした一人ひとりの積み重ねがやがて大きな波となり、うねりとなって広がっていく予感がします。一筆一筆にこめられた思いや願いを大切にしたいものです。

セミナーで90名の参加者に署名の訴え 秩父生協病院・菅原看護長

秩父生協病院の菅原さんは、7日午後に開催された秩父地域の「第1回テーナセミナー」で『私たち看護者・介護者が大切にしたいもの』のテーマで講演。セミナーは、秩父地域を中心に8病院、5特養、4老健、2訪問看護ST、7介護事業者から90名以上の参加がありました。講演の中で菅原さんは、医療・介護の情勢と併せ、介護署名への協力の訴えを行ないました。当日は、20筆ほどの回収でしたが、署名用紙は参加者全員に配布しているためこれからの回収が楽しみです。会場では「介護職 誇りとやりがい事例集」も紹介し、11部普及しました。医療生協の看護・介護の実践にみなさん感動している様子でした。

署名用紙もっと送って…

～生協妻沼介護C・柴崎さん

生協妻沼介護センター柴崎さんより「署名用紙が足りない。本部から届いた数では利用者さんに配れない」のうれしい連絡。早速100部をお届けしました。生協妻沼介護センターではサービス提供責任者の金井さんを中心にヘルパーさん対象に2度に分けてミニ学習会も開催され、現在は利用者様やご家族に訴え中！結果が楽しみです。

行きつけのラーメン店で!!

～大井協同デイサービス・西野さん

大井協同デイサービスの西野さんは、行きつけのラーメン店の店長家族に署名のお願いをし、快く協力をいただきました。介護ウェーブの説明をしていたところ、来店していた他のお客様数名が「私も書く！」と言って署名に協力していただいたというおまけ付。それに気をよくして、「常連さんが来た時に署名をお願いしていただけますか？」とお願いしたところ、快く署名用紙を置かせていただくことに。まさに「身近なところから声かけを！」の実践となっています。

（さいたま介護ウェーブニュース2009推進ニュースNo.3 2009年7月10日より）

【事務局短信】 STOP! 介護崩壊 「介護ウェーブ2009」署名の集約をお送りください！

署名集約は、現在9県連から報告を頂いています。集約は旧署名の数を含めずに、「介護ウェーブ2009」署名のみの実数をお知らせください。

	署名数	一言チラシ	学習会
埼玉	1,753筆		7回 88人
東京	5,430筆	25	5回 230人
神奈川	2,097筆	58	
山梨	1,254筆		
石川	45筆	3	

	署名数	一言チラシ	学習会
福井	50筆		
愛知	796筆	33	
兵庫	3,664筆	13	
岡山	1,525筆		26回

（2009年7月14日現在）

お問い合わせは、「介護ウェーブ推進本部」事務局：山平・名波まで

TEL 03-5842-6451 / FAX 03-5842-6460 / E-mail min-kaigo@min-iren.gr.jp